

台湾の大学が視察 東農大網走と交流

【網走】市内の視察に訪れている嘉南薬理大（台湾）の一行が、視察の支援に当たった東京農業大オホーツクキャンパス（市八坂）を表敬訪問し、両大学の関係者らが交流を深めた。

嘉南薬理大は、台湾でも農業技術の進化や少子高齢化対策が課題だとし、同大教授や学生ら17人が8月28日～9月2日

記念品を交換する陳品晟
主任秘書（右）と千葉晋
学部長



の日程で市内の農家や介護施設などを巡る。両大学は過去に連携協定を結んでいたことがあり、教員同士の縁で視察の支援

が実現した。

8月29日の交流式では、嘉南薬理大の陳品晟主任秘書―生活保健科技系・教授―が「本学は環境系の学部も構えており、スマート農業の推進などに向け視察が楽しみ。歓迎に感謝したい」とあいさつ。東京農業大の千葉晋・生物産業学部長は「本学は台湾在住の卒業生も多く、現地の温かみも感じている。実りある視察になれば」と応じた。式後には記念品も交換した。（佐藤海晟）